

# 洛和会音羽リハビリテーション病院

## 地域連携 NEWS 2025

Rakuwakai Otowa Rehabilitation Hospital  
vol.35

〒607-8113 京都市山科区小山北溝町32-1 TEL 075 (581) 6221代 FAX 075 (581) 6110 <https://www.rakuwa.or.jp/otowareha/>



内 科 より

## 心臓リハビリテーションを 始めました



▶ 洛和会音羽リハビリテーション病院 内科 副部長 **福山 香詠** (ふく やま か え)

心臓リハビリテーションとは、心臓病の患者さんが体力を回復し、再発や再入院を防止することを目指すプログラムで、運動療法や生活指導、管理栄養士による栄養についてのカウンセリングなども必要に応じて行います。心筋梗塞や心不全、心臓手術後の患者さんや末梢動脈閉塞性疾患の患者さんが対象となり、健康保険適用では150日間の心臓リハビリテーションを実施することが可能です。

洛和会音羽病院では以前から入院患者さんや通院患者さんに対しての急性期心臓リハビリテーションが数多く行われています。本年1月から当院においても、心臓リハビリテーションを始めました。心臓リハビリテーションは150日を超えると終了する方が多いのが実情ですが、本来なら一生継続するのが理想的です。当院では、150日を超えた後も、運動療法を続けたいと希望する患者さんに対して心臓リハビリテーションを提供します。150日以内と比べると実施回数や時間は減ってしまいますが、当院の心臓リハビリテーションで細く長く、運動を続けませんか？

急性期は洛和会音羽病院、生活期・維持期は洛和会音羽リハビリテーション病院にて、地域からのご紹介をお待ちしています。





洛和会音羽リハビリテーション病院

心臓リハビリテーションチーム

## 心臓病患者さんの予後改善と生活の質向上を目指して

当院では、本年1月から開始した心臓病患者さんの予後改善と生活の質向上を目指した心臓リハビリテーションは、運動療法を中心とした包括的なプログラムで、心不全患者さんの死亡率を23%低下させ、再入院リスクを減少させることが報告されています。具体的には、医師、看護師、理学療法士、管理栄養士が連携し、有酸素運動やレジスタンストレーニングなどの運動療法に加え、定期的な運動機能評価や服薬指導、生活指導、食事指導も実施します。患者さん一人一人の状態に合わせたプログラムを提供し、住み慣れた地域での生活を継続できるよう、お手伝いさせていただきます。

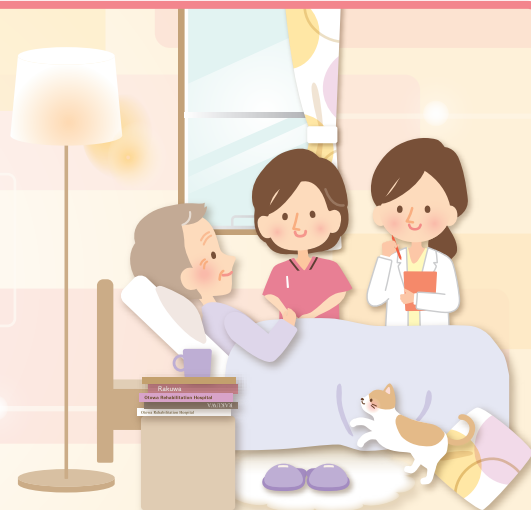
## 緩和ケアのまなざし

その人らしさとは何だろうか、その人らしさを支えるために何ができるのだろうか。意思表示が困難な患者さんを目の当たりにし、目の前の患者さんは自分らしく過ごしているのかをこれまで以上に考えるようになりました。

その人らしく生きるための重要な要素として意思決定が挙げられます。症状の変化の予測が困難な患者さんが後悔しない意思決定支援を充実させることが今後の課題と考えています。

▶ 洛和会音羽リハビリテーション病院  
看護部 2B病棟 緩和ケア認定看護師

さくま みわ  
佐久間 美和



地域連携課より

## 「在宅療養あんしん病院」のご案内

洛和会音羽リハビリテーション病院は、在宅療養あんしん病院として、**京都府在住で療養中の高齢者(65歳以上の方)**が体調を崩し、在宅での対応が困難になった場合のスムーズな受け入れ体制を整えています。早期対応により、病状の悪化や体の動きの低下をできるだけ防ぎ、在宅生活の継続を支援します。**事前登録には地域のかかりつけ医の協力が必要です。**ご希望の患者さんがおられましたら、早めのご登録をお願いいたします。



転院・入院の  
ご依頼はこちらから

詳しい内容はホームページを  
ご覧ください



洛和会音羽リハビリテーション病院  
地域連携課

連絡先

TEL 075(581)6868 (直通)  
FAX 075(581)6110

業務時間

●月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分

紹介予約(医療機関様専用)

●月～金曜日 午前8時30分～午後7時

●土曜日 午前8時30分～午後5時15分